

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社マナナガ

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		・経営理念とビジョンを明文化し会議室に掲示して共有している ・年間と月次の目標を設定し毎月初の会議でPDCAを回している								8	9											17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・遵守すべき法令をリスト化し毎年更新している ・リストをチェックシートとして年1回違反がなかったかチェックしている																				16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・会社の方針をマナナガスタイルとして明文化し共有している																					16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・環境管理責任者を設置している																					16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・ブログを発信する際にコンプライアンス違反がないか、専門家に確認を仰いでいる								8.2 8.3	9													
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・情報漏洩予防対策としてUTMを設置している																					16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・外部からの苦情・要望・意見を環境情報受付書に取り纏め適切に処置するよう定めている																				16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5				8		10				12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●												9			11				13.1				16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●											8	9												17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●							5				8							12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・就業規則の26条に社会的なルールや人権・人格の尊重の項目と、28条にハラスメント禁止の項目を設け36条に罰則を設けている				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3										16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・就業規則37条に感染症に対する規定を設けている ・業務の必要に応じ外部の安全教育を受講している ・メンタルヘルスの外部講習を受講している								8.8														
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金の原則に沿って対応している。	●		・同一労働同一賃金の原則に沿って対応している					5.5			8.5		10.2 10.3												
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・ICTツールを活用し部署内の業務や情報の共有を推進して、有給休暇が取得しやすい環境を構築している								8.5 8.8		10.3												
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・教育訓練休暇制度を用意し、資格試験受験の補助を行っている					4	5.5		8	9													
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・心の健康づくり計画に基づくメンタルヘルス対策に取り組んでいる									8												17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・女性管理職を積極的に登用している。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3											16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェビナー等を導入している。	●											8	9.1			11	12								
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・社内データのクラウド化、FAXのデータ移行を実施し業務効率を向上している									8	9.1			11	12								
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●											8	9						12						

環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●	・販売する商品のSDSやRoHSの情報を適切に提供している ・二次電池の回収窓口として登録している			3.9						11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●	・エネルギー使用量をデータ化し見える化している ・社用車をエコカーへ転換している ・社内照明をLED化している					7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●	・エネルギー使用量、ごみ排出量からCO2排出量を把握している ・CO2排出係数ゼロの電気供給会社を選択している			2.4								12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●	・排水に流しても環境に負荷の少ない洗剤の販売に取り組んでいる													14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●	・ごみを分別して排出量を記録しグラフにまとめている ・入荷時の梱包資材は出荷時に再利用している							9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●	・社内で水使用量削減のため節水コマを使用し、月ごとの使用量をグラフにまとめている ・植林活動に参加している			2.4							11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●	・消費電力の少ない機器への置き換えによるコストと環境側面のメリットを情報として顧客に提供している ・自社で使用する消耗品はグリーン購入を基本としている							9.4				12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2										12.3		14	15	17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●											11.6 11.7			13.1 13.3		15	17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●	・使用する電気のRE100を達成している ・自社の取組を外部へ発信している								9.4		11.5			13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●											9.4	11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●	・毎年、熊本県中小企業家同友会による植林と下草刈りに継続して参画している											11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●									9.4		11.2			13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●	・再生可能エネルギーの使用により、本年2月に電気によるCO2排出量の実質ゼロを達成している。 ・また、今後段階的に社用車の電氣化を予定している											9.4	11.6 11.a	12.8	13			17.17	

製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●	・必要とされる製品のSDSやRoHS、ミルシート等の情報を適宜収集し提供している									3.9						9									12.4											
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●	・手すりの設置など、ユニバーサルデザインに配慮している															9.1	10	11.7																	17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●	・県内で作られた再生可能エネルギーを使用している									7.3		8	9						11.a	12.3	13	14	15												17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●										7										12.2	13.1														15	
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●				1	2	3	4	5	6	7		8	9	10						11	12	13	14	15	16	17										
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。	●																	8.2	9.2 9.4		11.a	12.2			14	15										17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●	・熊本県中小企業家同友会で環境委員会に参加し、植林など環境活動に取り組んでいる	1	2	3	4	5	6	7			8	9	10						11	12	13	14	15	16	17											
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●	・BCP策定のセミナーに参加し試案を策定するなど、事前防災対策を進めている				4														11.5			13.1													16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●			1.5			3	4													10.2	11.5				13.1										16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●																	9			11	12	13.1														
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●	・熊本県中小企業家同友会で環境委員会に参加し、SDGsの啓発のためカードゲーム等の勉強会を行っている	1	2	3	4	5	6	7			8	9	10							11	12	13	14	15	16	17										
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●												8.6								10.2															17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●																																				17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●																																				17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。